

令和4年度愛知県合同輸血療法委員会議事録

I 日 時

令和5年2月1日（水） 午後3時から午後4時30分まで

II 場 所

愛知県議会議事堂 1階 ラウンジ

III 出席委員（12名）（順不同、敬称略） （注）◎：議長

小澤 幸泰、尾関 和貴、笠井 雅信、◎加藤 栄史、木下 朝博、近藤 勝、飯田 浩充、
澤 正史、倉橋 信悟、松下 正、山本 一仁、李 政樹

IV 依頼出席者（2名、在宅輸血を行う医師）

伊藤 達也、杉浦 勇

VI 欠席委員（1名）

三浦 康生

<議題>

1 「愛知県内の小規模医療機関における輸血の管理体制に関する調査」の結果について

令和2年度に実施した「愛知県内の小規模医療機関における輸血の管理体制に関する調査」について、当委員会が令和2年度においては書面開催、令和3年度においては中止となり、十分な討議がなされていなかったため、令和4年度において調査結果について意見交換を行った。

2 提供可能な資料について

医療機関において輸血療法を始めるにあたり、参考となる資料について愛知県血液センターから情報提供があった。

3 輸血トレーサビリティについて

加藤委員から輸血副反応発生の原因を調査検討するために、個々の血液製剤における使用状況や副反応等の情報をトレースするシステムについて情報提供があった。

3 その他

愛知県赤十字血液センターから赤血球製剤の有効期間の変更についての情報提供及び血小板製剤の輸血による細菌感染が疑われた事例の報告、注意喚起があった。